

諸描画要素の追加・編集（多行文字）

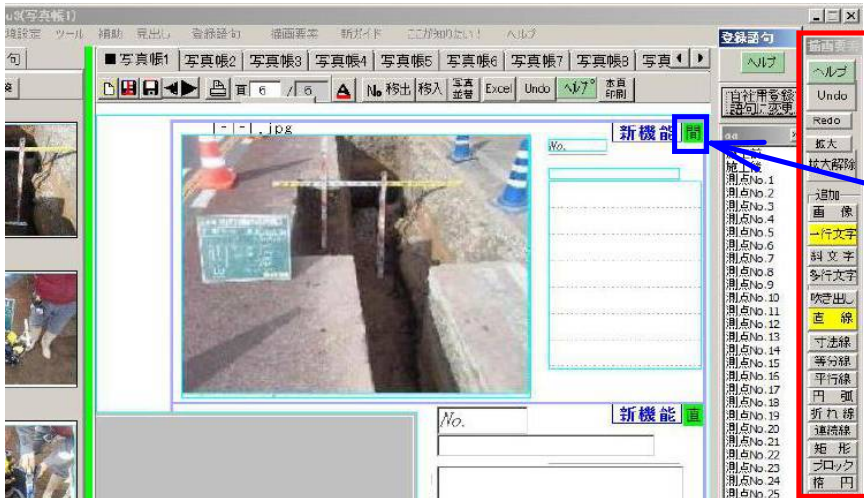
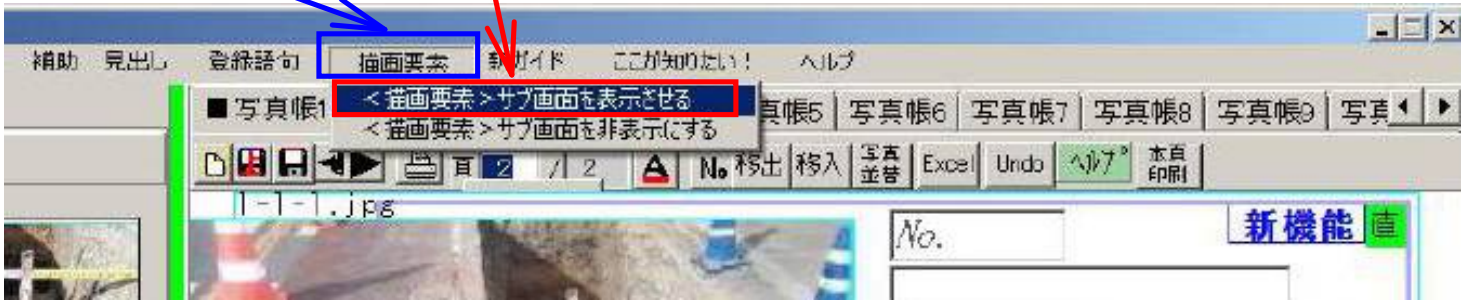
（注）多行文字とは、何行にもわたって文字を入力できるものです。

スタート

メイン画面の右端に<描画要素>サブ画面が表示されていない場合は下記の操作をします。

①メイン画面上部の“描画要素”のメニューをクリックします。

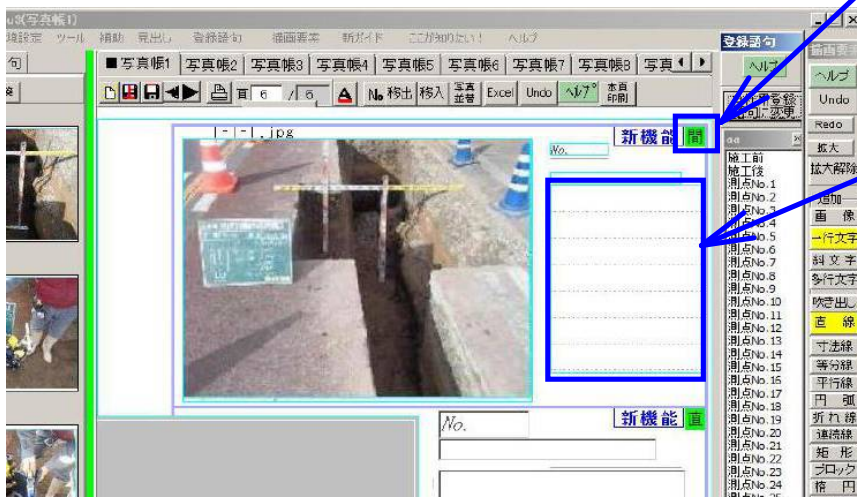
②このメニューをクリックします。



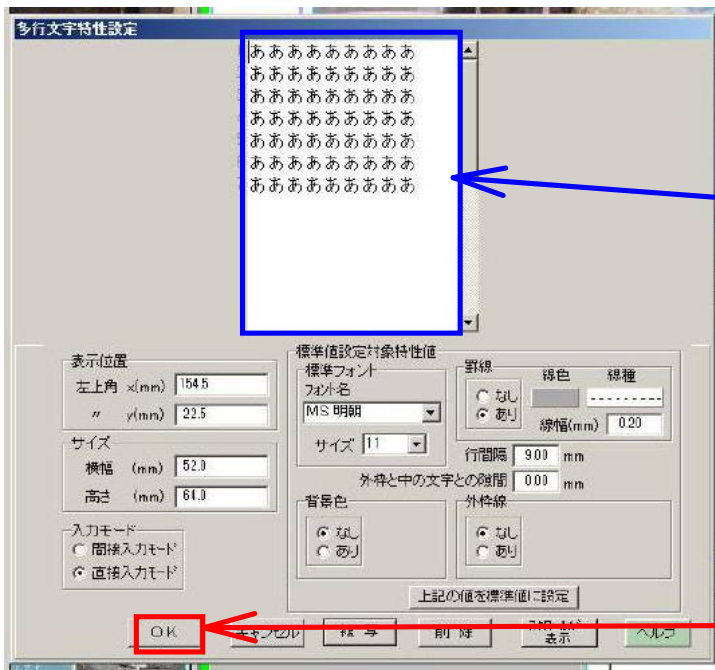
<描画要素>サブ画面が表示されました。

ここに“直”という文字があります。これは、現在は直接入力モードの状態であることを意味します。ここをクリックして、間接入力モードに切り替えます。

“間”という文字に変わりました。



この工事写真帳の様式では、すでにここに多行文字が配置されています。直接入力モードでは、文字をここに入力できますが、間接入力モードでは、右クリックしないと、入力画面が表示されません。この領域内で右クリックします。



すると、＜多行文字特性設定＞画面が表示されます。
ここで多行文字の特性を変更します。

文字は、ここで入力します。
入力した文字の一部を反転表示させた後、右クリックすると＜フォント＞画面が表示されます。その画面で、一部の文字の色・サイズなどを変更できます。

最後に
【OK】ボタン
をクリックします。



以上の操作でこのように
文字が複数行入力されました。

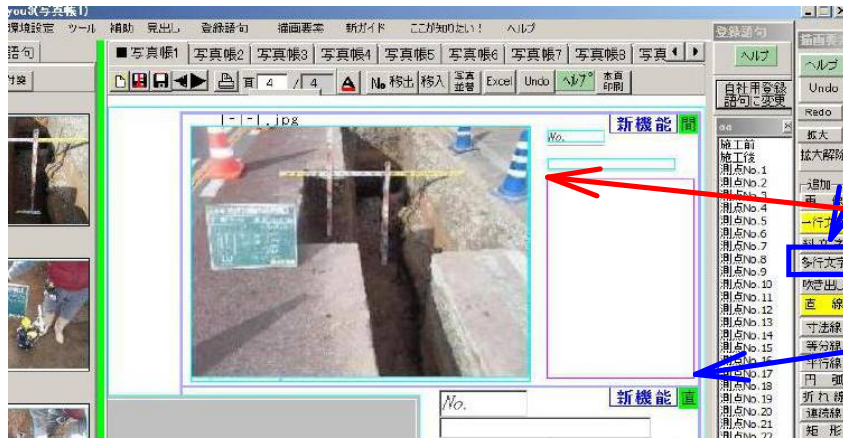


多行文字には空色の枠が付いています。
その枠線の上にマウスを移動させると
マウス形状が、両端に矢印がついた短い直線に変わります。
その状態でドラッグすると、多行文字の領域が変化します。

また、枠線なしにマウスを移動させると
矢印付きの十字に変わります。
その状態でドラッグすると、多行文字の表示位置が変わります。

以上、多行文字の編集方法を先に説明しました。
今度は、多行文字の追加方法を説明します。

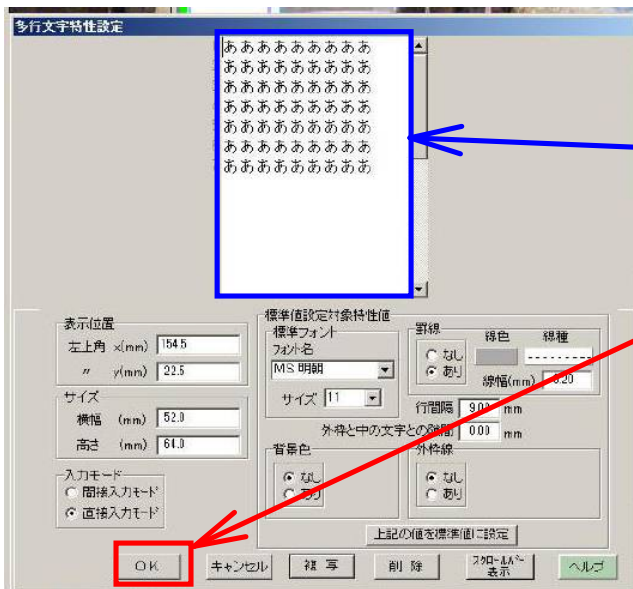
スタート



①【多行文字】ボタンをクリックします。

②多行文字を追加したい領域の左上角をクリックします。

③指を上げず、マウスを領域の左下角へ移動した上で、指を上げます。



<多行文字特性設定>画面が表示されましたので、

ここ

へ文字を入力の上、
【OK】ボタンをクリックします。



以上の操作で多行文字が追加されました。